

平成 27 年度 遊学館高等学校 評価表

| | |
|-----------------------------------|---|
| <p>教 育 目 的</p> | <p>金城学園は明治 37(1904)年に「良妻賢母の育成」及び「遊学の精神の涵養」を建学の精神として加藤廣吉・せむ夫妻によって創立されました。そして、平成 8 年(1996)年度には、男女共学化にともない“遊学館高等学校”と校名変更を行い、地域社会及び時代の要望に対応しながら、今日に至るまで地に足の着いた教育を行ってまいりました。</p> <p>「教育とは云うてきかず事ではない。して見せる事でもない。している事である。」これは、二代目 加藤二郎の教育観であるとともに、一貫して本校の教育の根本であり、現在も本校の教育理念として長く受け継がれています。教師と生徒がともに生活する中で、教師の人格を生徒に伝え、教師と生徒が一体となり、高い人格と深い情操を陶冶することを教育の目的とし、「健康で、品行があり、知識のある生徒」の育成に力を注ぎます。</p> |
| <p>中・ 長 期 目 標</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 文武両道を奨励し、進学や部活動において高い実績を上げることがめざす。 2. 互いが互いを尊重し、思いやる心と愛校心あふれる元気の良い生徒を育成する。 |
| <p>重 点 目 標</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 心身ともに健康な生徒の育成。 2. 進学実績の向上。 3. 確かな基礎学力の定着。 4. 教育活動の一環としての部活動等の活性化。 |

| 評価項目 | 具体的取組目標 | 具体的取組方策 | 成果と課題、改善策 |
|-------|---|--|--|
| 教 務 部 | <p>1.生徒指導要録の電子化</p> <p>2.出席簿書式の改訂</p> <p>3.教科主任会の実施</p> <p>4.心因性不登校生徒の対応</p> <p>5.成績処理関係の刷新</p> | <p>学籍に関する記録と指導に関する記録を分け、まずは指導に関する記録を電子化していく。</p> <p>生徒指導要録の電子化に向けて、出席簿の記号の簡略化や一覧表とリンクさせられるようにしていく。 サイズや朝礼欄を入れる検討をしていく。</p> <p>教務部主導による教科主任会を毎月実施していくことで、教科間の連携や生徒の基礎学力の充実を図り、成績不振者の減少（目標5%未満）を目指してゆく。</p> <p>学校保健委員会と連携し、本校としての対応を検討する。</p> <p>成績入力などで誤りが出ないようにするためや、素点の状況が分かるように変更することを目的としている。</p> | <p>電子化に向けた取り組みは、電子化の実施校の見学やソフトの開発会社からの情報収集などをいくつも行ってきたが、まだ決定には至っていない。記録は分けずにまとめた方向で考えている。</p> <p>改訂し来年度から実施していく。サイズは持ち運ぶことを考えA4サイズとした。記号も簡略化を図ったが現段階では5つが限度となった。</p> <p>教科主任会議は年間10回実施することができた。会議ごとにさまざまな課題が出てきたが、次年度には解決できるように取り組んでいく。基礎学力の充実は学年によっても差が出るが、単純に成績を与えるようなことよりも、教科会ごとに取り組み方を検討することが必要。</p> <p>対応が決定したので来年度から実施することとなる。内規には記載する。</p> <p>今後、ポイントを絞った課題の解決策を検討していく。</p> |

| 評価項目 | 具体的取組目標 | 具体的取組方策 | 成果と課題、改善策 |
|-------|--|--|--|
| 生徒指導部 | 【服装指導】 1. 男子生徒 ・ネクタイの締め方 ・ズボンのホック ・シャツのボタン 2. 女子生徒 ・スカート丈 | 1. 校門指導を毎日実施 2. 定期的な服装指導期間の設置 3. 生徒指導部による日常的な服装指導 4. 服装全体のイラストを掲示 | 1. ほぼ毎日、誰かしらの教員が校門に立てた。 2. 女子生徒のスカート丈が改善できていない。 3. 服装指導においては、部署の先生方が率先して指導してくれた。 4. イラストは美術部の生徒が作成し好評であった。 |
| | 【頭髪指導】 1. 頭髪指導後には、期日までに直させる 2. 色落ち・染色・変形には、すぐに対応し、違反を認めない | 月に一度、頭髪指導を実施する。担任との連携を図り、指導生徒の事後指導を徹底する。 | 頭髪指導担当者を中心に指導をしたが、期日までに直さない生徒がいた。 来年度からは、担任に頭髪検査していただく期間があるので、責任をもって指導していただきたい。 |
| | 【遅刻・欠席指導】 1. 安易な遅刻・欠席をさせない (月7%以下を目標) 2. 遅刻業後指導の徹底 3. 遊学講座の欠席遅刻の確認と連絡 4. 不登校生徒の早期発見と早期対応 | 1. 8時35分の生徒玄関での遅刻指導を徹底する。 2. 遅刻者を確認し、担任との連携を図る。 3. 週毎に欠席者を調べ、欠席が多くなった時点で学年主任・担任と相談し対応する。 4. 学校保健委員会(学習支援)との連携を図る。 | 1. 教員が少なく、行けない日があった。 7%の目標達成が4月と7月のみであった。 2. 遅刻の指導に先生によって温度差があった。 3. 発達障害の生徒が年々、増えてきているので対応したい。 4. さらに強く連携したい ※グラフ掲示などを考え、生徒がもっと意識出来るように工夫したい。不登校の生徒に関しては、早め早めに相談して欲しい。 |
| | 【交通マナー指導】 1. 自転車マナーの向上 2. バス・電車の乗車マナーの向上 | 1. 交通指導の実施 2. 集会時や生徒指導だよりでの呼びかけ | 1. 毎月、実施したが、相変わらず苦情が多数あった。 (生徒のモラル意識を高めたい) 2. 来年度は体育館建設のため、駐輪場の使用を工夫したい。 乗車マナー指導を増やしたい。 |
| | 【業後指導の徹底】 業後指導の実施を徹底する | 業後指導実施の有無を毎回確認し、実施されていない生徒には担任を通じて連絡する。 | 生徒には定着してきたが、先生方によって指導に温度差があった。 |
| | 【非行防止】 1. 万引き・自転車窃盗をさせない 2. 校内での盗難を防止する | 1. 長期休暇前、学期始まりでの集会時や生徒指導だよりでの呼びかけ 2. 校外指導の実施 3. 貴重品を預ける指導の徹底 | 1. 休暇中の問題行動は減少している。 2. 校外指導は来年度、コースを変更する。 3. 万引きと窃盗が数件あった。自転車窃盗は毎年、減少傾向にある。貴重品を預ける生徒が少ないので指導したい。 |

| 評価項目 | 具体的取組目標 | 具体的取組方策 | 成果と課題、改善策 |
|-------|--|---|--|
| 進路指導部 | <p>① 国公立大学合格者 10名以上</p> <p>② 学習指導の充実</p> <p>③ 学習環境の安定した 提供</p> <p>④ 進路指導に関する活動 の連携</p> | <p>① - 1 模擬試験データの提供などにより、 5教科主任との連携を取りながら、学習指 導において具体的な取り組みを行う。</p> <p>① - 2 クラス担任との連携によって、個々 の生徒に必要な支援や学習環境の整備に よって学習意欲の維持を図る。</p> <p>特進クラスを対象とした業後と長期休暇 中の補習の充実と見直しを進める。また、一 般進学クラス対象の補習についても、さらに 充実した内容になるように教科会との連携 を図る。</p> <p>スペシャル講座を安定して開講すること で、学習環境の整備と生徒の学習時間増を図 る。</p> <p>模擬試験や進路行事に関して学年会や教 務部との連携を強めることで内容の充実や 運営の効率化を図る。</p> | <p>模試やセンター試験の判定データなどは教科主任を通して 各教科に提供し、全体や個々の生徒への対応を教科担任と相 談しながら行うことができた。センター試験や個別試験に向 けての指導に多くの先生方が関わっていただいたおかげで、 国公立大学へは現役6名、過年度1名の計7名（前期まで） が合格できた。しかし、目標としている10名に達すること ができなかった。</p> <p>教科会の協力により、年度当初に予定していた補習授業は すべて実施することができた。今後は、3年学年会の協力も 仰ぎながら特進クラス以外の生徒の参加者数を増やし、受験 に向けての雰囲気盛り上げていきたい。</p> <p>ほぼ365日の開館が実現できた。今年度の3年特進が卒 業したことで、利用者減が予想されるので、これまで以上に多 くの生徒に対して利用を促していきたい。</p> <p>校内研修や模試については、教務部と連携しながら運営す ることができた。今後は、さらに円滑な運営ができるように 話し合いを進めていきたい。</p> |

| 評価項目 | 具体的取組目標 | 具体的取組方策 | 成果と課題、改善策 |
|-------|---|---|--|
| 特別活動部 | 1. 各部の活動内容の掌握 (部活動行事団体公認欠 席届など書類の提出の 徹底) 2. 各市町村での表彰者に ついての把握 3. 高体連・高文連との円 滑な連携 | 各部活動の活動を掌握し、生徒の安全の確 保に留意する。 各部における表彰者の把握など細かく集 計し、各市町村へ報告する。 入部調査など速やかに報告できる体制を 構築する。 | 公認欠席届は、ほぼご提出いただきましたが、長期休暇中 では、提出されない場合が多いように感じられます。趣旨をご 理解され、漏れがないようにご提出していただきたいと思 います。 例年同様、県内出身者が少ないので、掌握しやすかったこと と滞りなく各自自治体には報告しました。 先生方に協力いただき、速やかに報告することができました。 |
| 総務部 | 1. 奨学金の拡充 2. 第1・2学館等施設 管理 3. 学校管理 4. 安全運転管理 5. 学生寮管理 | ① 石川県・金沢市及び他県の奨学金受給 生の拡充。 ② 家計急変等緊急のための奨学生の受け 入れ。 ③ 大学進学のための予約奨学生の浸透。 ① 校舎等施設の管理に対応する。 ① 校舎等の警備管理を行う。 ① 職員の安全運転の指導を行う。 ① 寮生の安全及び快適な生活環境を作る。 | 高校在学奨学生は昨年並みとおちついたようです。 就学支援金があり、特に家計急変の生徒はいなかった。 大学予約奨学金は全体で昨年より大幅に増え、学年半数近く が予約手続きを終え大学等に進学する糧になったと思いま す。 建物営繕は昨年に続き大きな修繕はなく、小さな対応ですみ ました。来年度は体育館の工事も進み注意をしたい。 老朽化している学生寮の管理を、十分に行っていきたい。 |

| 評価項目 | 具体的取組目標 | 具体的取組方策 | 成果と課題、改善策 |
|-------------------------------|----------------------|---|--|
| 学 校 保 健 委 員 会 (学 習 支 援) | 「学校安全計画」の円滑な運用 | ① 学校薬剤師と連携し、校内の環境整備に努める。 ② 感染症の予防ないし、感染拡大の防止に努める。 | ① 二酸化濃度が基準値より高い教室が多い。冬期における換気の呼びかけを積極的に行う必要がある。 ② インフルエンザ対応が難しい。日頃からの予防を呼びかけたい。 |
| | 学習支援体制の確立 | 支援が必要となる生徒の早期発見に努め、情報を共有する。 | 気になる生徒がいればクラス担任に情報提供を求めるようにしているが、把握しきれない場合がある。学年会などから情報が集まるよう努めたい。 |
| 遊学講座運営 委 員 会 | 講座運営の充実と将来像の模索 | ① 欠席・遅刻、受講態度など、直近の問題について改善を図る。 ② 「総合的な学習の時間」としての運用を図りつつ、昨年までの経緯を踏まえ、委員会でもその位置付けや将来像を考えていきたい。 | ① 事故や講師陣への迷惑は避けねばならないが、講座の性格上、徹底させるにも限界を感じる。 ② 長年の懸案であった総合学習との整合性について、枠から外して独立させたことにより、これまで以上に特性を追求できる形となった。新年度に向けて、開設講座や講師陣、実施場所などにも広がりが見えた。ただし、年間を通した土曜日の使い方や教員の働き方については、課題が残る。 |
| ホームページ 作 成 委 員 会 | 内容の充実 および情報発信量の向上 | ◎ 業者の下請け作業に終わるのではなく、委員会として現場からの提案も積極的に行いたい。 ① 基礎データを見直し（見せ方を含む）、必要な場合の修正を速やかに行う。 ② 更新頻度や情報発信量を上げて、アクセス数を増やす。（特に「在校生のページ」と「卒業生のページ」） | ① 委員会としての意見をもとに業者と折衝し、トップページの見せ方などに工夫を加えることができた。 ② 遊学館 topics の更新頻度は上げたが（24→37）、在校生・卒業生に向けた発信量は増やせなかった。アクセス数は前年比 128.75%で、教員ページ（個人・ブログ）へのアクセスが最も多かった。 |

| 評価項目 | 具体的取組目標 | 具体的取組方策 | 成果と課題、改善策 |
|-----------|---|--|---|
| 1 年 学 年 会 | <p>1. 基本的な生活習慣の確立</p> <p>2. 基礎学力の確立</p> <p>3. 面倒見のいい学年会</p> | <p>◎遅刻・欠席をしない 保護者との連絡を密に取る</p> <p>◎挨拶、身だしなみ 教員全体で指導する さわやかな挨拶</p> <p>◎言葉づかい 生徒との適切な距離</p> <p>◎学習習慣をつくる 家庭での学習習慣を身に付けさせる</p> <p>◎基礎学力の向上 マナトレの活用 面談週間を充実させる 勉強会・補充</p> <p>◎信号を発する生徒の早期発見 遅刻・欠席や身だしなみ、生活態度の変化などから察知する 保護者との連絡を密に取る</p> | <p>・入学当初よりも挨拶ができる生徒が増えた。</p> <p>・集会などでの聴く姿勢が良くなった。</p> <p>・LINEなどで使う言葉を中心に指導したが、時と場所に 応じた言葉づかいがまだできていない生徒も多い</p> <p>・クラスの仲間への思いやりがある生徒が多い。</p> <p>・長欠経験者や問題を抱えた生徒も多く、遅刻・欠席へ減少にはいたらなかった。</p> <p>・マナトレは基礎力確認にはなるが、そのあとの対応が難しく、活用し切れてはいなかった。</p> <p>・文章トレーニングなどを活用し、文章を書く力を養った。</p> <p>・面談週間を活用し、学年末に個人カードを作成し、次年度の担任への引き継ぎをスムーズにする。</p> <p>・様々な家庭環境や悩みを抱えた生徒が増えていることを痛感した。保護者も問題や病気などを抱え、対応が難しいことも多かった。</p> <p>・原級留置の生徒が進級できなかった。</p> <p>・学年末で不認定科目を持つ生徒を出してしまった。</p> <p>・個人カードなどを活用し、次年度の学年会・担任への引き継ぎがうまく行えるようにする。</p> |

| 評価項目 | 具体的取組目標 | 具体的取組方策 | 成果と課題、改善策 |
|-----------|---|---|--|
| 2 年 学 年 会 | <p>1. 基本的な生活習慣の確立</p> <p>2. 基礎学力を養う</p> <p>3. 進路希望の決定</p> | <p>(1) 時間に遅れない、休まない 進路実現に向け意識を徹底させる 保護者と連絡を密にとり理解を得る</p> <p>(2) 挨拶、身だしなみ 気づいたらすぐ声をかけ手をかける 挨拶を率先する</p> <p>(1) 学習習慣をつくる 勉強会の実施 学年会独自の宿題</p> <p>(2) 基礎学力の向上 マナトレによる基礎学力の定着 基礎講座の実施</p> <p>(1) 面談週間の活用 こまめな面談を通して生徒に的確な 進路指導を行う</p> <p>(2) 成績の分析 現在の自分を分析し進路実現の足が かりを得る</p> | <p>年間平均は欠席37%、遅刻16%といずれも目標値を達成できなかった。具体的な方策が必要。欠席遅刻数の見極めができておらず、単位不認定者を出してしまった。長期欠席者を復帰させることができず、転・退学者もあった。</p> <p>修学旅行をひとつの契機とし、全体的な指導強化につながった。今後も継続する必要あり。</p> <p>勉強会は実施したが生徒を集めることはできず。消滅した。宿題については具体的方策を施すことはできなかったが、持ち帰りをし完成させる作文は少量行った。</p> <p>マナトレは朝学習として行ったが、マナトレテストの振り返りを行うことはなかった。基礎講座については重点的に行い、結果成績不振者が大幅に減少した。</p> <p>面談週間は面談準備シートを用意し、充実して行うことができたようだ。</p> <p>定期試験や模擬試験の結果を分析し、クラス担任で共有したが、面談週間などに生かすことはできなかった。</p> |

| 評価項目 | 具体的取組目標 | 具体的取組方策 | 成果と課題、改善策 |
|-------|--|--|--|
| 3年学年会 | <p>1. 進路指導の充実</p> <p>2. 規則正しい学校生活</p> <p>3. 有意義な学校行事への参加</p> | <p>① 面談週間などを通し、志望校や志望職の決定をサポートする。</p> <p>② 小論文指導や面接練習を数多く行い、推薦入試や就職試験に備える。</p> <p>③ 推薦入試に頼らない一般入試に挑戦する生徒をサポートする。</p> <p>① 生徒全員が授業に集中しているか、クラス担任がクラスの状況を教科担任と連携を組んで把握し指導を行う。</p> <p>② 特定生徒については保護者との連絡を密にして学年主任も入れながら面談を重ねて指導にあたる。</p> <p>③ 進路決定後も、生活態度が緩まないように指導していく。</p> <p>① 高校生活最後の学年として積極的に学校行事に取り組むよう指導する。</p> <p>② 体育祭においては2週間程前から放課後に残って応援練習を行う。その際、担任は当番制を組んで、生徒の把握に努める。</p> <p>③ 学園祭においては生徒全員が何らかの仕事分担に入るように留意する。</p> | <p>① 志望校や志望職の決定をする上で、面談週間を十分に活用しました。</p> <p>② 小論文指導や面接練習は、教科担任等の協力も得、実施しました。</p> <p>③ 特進コースの生徒はもちろんのこと、特進コース以外の生徒の中にも、良い緊張感を保ち、一般入試に挑戦し、結果を出す生徒がいました。</p> <p>① クラスの状況について、教科担任と連携を取り、指導に当たりました。</p> <p>② 保護者との連絡を密に取り、協力態勢を作り、指導に当たった中で、生活態度・校則の順守等を改善させることが難しいケースがありました。</p> <p>③ 進路決定後、欠席・遅刻が増えた生徒おり、面談等を行いました。</p> <p>① 学校行事には積極的に取り組み、学校の活性化に貢献できました。</p> <p>② 体育祭では各クラス趣向をこらし、盛り上がりました。準備も手際よく行っていました。</p> <p>③ 学園祭も各クラス企画から最後の後片付けまで、クラスでよくまとまって、学園祭を楽しんでいました。</p> |